

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
公共	前期	1	2年次	必履修	12	2	3	
	後期	1			12	2	3	
使用教科書		東京書籍 701 公共						
科目の概要		現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、まとめる技能を身につけ、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や議論する力を養います。						
年間 学習 計画	学習内容		学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・ 公共的な空間をつくる 私たち ・ 公共的な空間における 人間としてのあり方生き方 (P7～P35)		○青年期と自己形成、キャリアについて学習し、私たちが自立した主体であることを学びます。 ○三大世界宗教について学びます。 ○功利主義と幸福の原理、義務論と公正の原理について学び、生命倫理、環境倫理について考えを深めます。 ○倫理的観点から物事を判断する際の考え方を学びます。			前期 1～4	No.1	
	・ 公共的な空間における 基本的原理 ・ 民主政治と私たち (P36～P83)		○協働の方法や社会制度をつくる基礎となる考え方について学びます。 ○地方自治のしくみと役割、日本の国会、内閣の仕組み、世界の政治体制、選挙や政党について学びます。 ○防災、投票率の低下について諸外国の取り組みについて理解し、考えを深めます。			前期 5～8	No.2	
	・ 法の働きと私たち (P84～P111)		○法は私たちの生活にどうかかわるのか、法や規範の意義と役割、法の適用とプロセス、現代の市民生活における私法の役割と意義について学びます。 ○消費生活と契約、司法のしくみや役割、国民の司法参加について学びます。 ○裁判員制度について学びます。			前期 9～12	No.3	
	・ 経済社会で生きる 私たち (P112～P145)		○企業の経済活動や市場経済のしくみ、価格決定のメカニズムや資本主義の歴史と経済思想、経済指標や景気変動と物価、戦後日本経済の動き、金融のしくみと働き、財政の働きや課題、社会保障の考え方や課題について学びます。 ○諸外国のタクシー事業への規制や日本の社会起業家やクラウドファンディングについて考えを深めます。			後期 1～4	No.4	
	・ 私たちの職業生活 ・ 国際社会のなかで 生きる私たち① (P146～P173)		○働くことの意義と職業選択、これからのキャリア形成の課題、労働者の権利と労働三法、現代の雇用・労働問題、国際社会のルールとしくみについて学びます。 ○日本の平和と安全はどのように守られてきて、どのように変化してきたのかについて学びます。 ○国際連合の専門機関について学びます。			後期 5～8	No.5	
	・ 国際社会のなかで 生きる私たち② ・ 持続可能な社会づくりに 参画するために (P174～P212)		○現代の紛争とその影響を把握し日本が果たすべき役割、国際経済、貿易や国際金融のしくみについて学びます。 ○戦後の国際経済の動き、今日の国際経済とその諸課題、SDGsについて学びます。 ○課題解決に向けて、考察、構想し、自らの考えを説明、論述できるようになるためのプロセスについて学びます。			後期 9～12	No.6	
評価 方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 添削課題（レポート） ・ 試験（テスト）							
単位 修得	・ 面接指導（スクーリング）は、前期・後期各2時間以上出席してください。 ・ 添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。 ・ 2年次以上で2単位修得します。							